

高校生ふれあい看護体験

副看護部長 谷本りえ子

今年「看護の日」が制定されて 20 年になります。これは国民の皆様に看護に関心と理解を深めていただくことを目的としたものです。高校生ふれあい看護体験は看護の日普及事業の一環として毎年、徳島県と徳島県看護協会の共催で県内の病院や老人保健施設などにおいて実施されています。

当院では夏休みにはいったばかりの 7 月 21 日に 9 名の高校生が参加してくれました。

まず、ピンクの白衣に着替え、ナース気分を体験しました。そのあと鳩野みどり看護部長より病院の概況、看護師という職業の魅力などについて講義を受けました。病棟では血圧測定や車椅子移動、足浴などを看護師といっしょに体験しました。某テレビ局の取材があり、2 名の高校生がインタビューに応じていました。

参加した高校生 9 名は将来、看護師をめざしており、体験したことにより看護師になりたいという気持ちが強くなったと感想を述べていました。この 9 名の人たちが入職するころは病棟も建て替えが終了し、きれいになっています。一緒に働けることを楽しみに待っています。



